

内閣総理大臣 菅 義偉 様
財務大臣 麻生太郎 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
文部科学大臣 萩生田 光一 様
経済再生担当大臣 西村 康稔 様

新型コロナウイルスの感染拡大する中の新学期に当たり、 子どもたちの命と健康、学びと発達の保障および保護者の収入の補償を求めます

2021 年 8 月 25 日
新日本婦人の会 会長 米山淳子

新型コロナウイルスの危機的な感染拡大の中、東京をはじめ 13 都府県が緊急事態宣言となり、まん延防止重点措置は 16 道県に、そして、多くの過去最高の感染が確認され、「原則自宅療養」の政府方針によって自宅に置き去りにされ、命を落とすケースも相次ぎ、すでに医療崩壊状態になっています。

とりわけデルタ株は、感染力が従来型の 1.5 倍と非常に高く、子どもへの感染も急増しています。この夏、部活動や学習塾での子どもたちの感染やクラスターが広がりました。

2 学期の再開に当たり、これまでに経験のしたことのない感染拡大の中、子どもたちの命と健康、学びと発達を保障する手立てを、これまで以上にとる必要があります。そして今、多くの保護者が子どもの感染予防のために賃金や仕事そのものを失う危機に瀕しています。保育園休園や学校休校で雇い止めや無給になることのないよう、この感染拡大の状況に応じた休業補償を取ってください。現場まかせ、先生頼みではなく、政府として責任を持った強力な対応を求め、以下要請します。

1、希望者すべてが、国の財政で無償の PCR 検査を受けられるようにしてください

- 感染リスクを低く抑えながら安心・安全の学校生活をすごすために、9 月の新学期が始まる前に、児童生徒、教職員の希望者すべてに PCR 検査を無償で実施してください。
- 定期検査を実施してください。週に 1 回、2 週間に 1 回など、定期的に検査をおこなってください。子どもたちの活動する場は、コミュニケーションをとったり、交流したり、「密」になる場面が多いです。発達や成長の場を保障するためにも、定期的に検査をおこない、早期発見、保護へとつなげてください。
- 学校やクラスで陽性者がでた場合、濃厚接触者以外でも PCR 検査が受けられるようにしてください。判断が遅れることのないよう、速やかに検査をおこなってください。
- 学校関係者、学童や幼稚園、保育園など、子どもに関わる施設等で働く職員への、ワクチン接種を優先的に確保してください。

1、希望者にはタブレット、オンライン授業も可能にしてください

- 本人、または同居家族に疾患や妊産婦であるなど、デルタ株の驚異的な感染拡大のもと、感染予防として登校できない児童・生徒もいます。希望者には、オンラインでの授業参加なども、検討してください。感染予防として登校できない児童・生徒を「欠席扱い」としないでください。

1、保護者の休業補償や生活支援をおこなってください

- 保育園休園、学校休校、また感染予防で登校できない場合など、仕事を休まざるをえない保護者が、雇止めや減給、無給とならないよう、国が万全の措置をとり、個人申請可能な小学校休業等対応助成金の復活など、休業補償や生活支援金等の支援を早急におこなってください。

1、少人数クラス、分散登校などで、教室の「密」をただちに回避してください

- 40 人学級などの大人数の教室では、身体的距離の確保はとてできません。また、感染拡大のもと不安な思いや、感染対策徹底での学校生活は、子どもたちへの心身の負担が増すばかりです。一人ひとりの学びや発達、健康、命を守るためにも、9 月からの登校は、複数グループでの分散登校とし、少人数授業を実施してください。

1、学校や先生の努力では限界があります。いまこそ、教育に人員と予算を拡充してください。